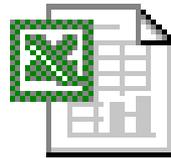


自動車使用管理計画作成ソフト (Excel)の概要

概要

一つのExcelファイルで以下のことが作成可能です。



※Excel2007,2010,2013で動作確認済み

自動車使用管理計画(10事業場1000台用).xlsx

自動車使用管理計画(100事業場5000台用).xlsx

※ファイルは事業者の現状にあわせて選択してください



1. 自動車使用管理計画の作成
2. 自動車使用管理計画(実績)の作成

シート内訳

1. 自動車使用管理計画の作成に使用するシート

(計画表紙、計画排出量、計画措置、計画代替、計画事業場)

2. 自動車使用管理計画(実績)の作成に使用するシート

(実績表紙、実績排出量、実績措置、実績代替、実績事業場)

3. 参考シート

はじめに:自動車使用管理計画作成ソフトの簡単な説明書きがあります。

排出係数:NO_x,PM,CO₂の排出量の算定に用いる排出係数を記載しています。

産業分類表:業種番号(計画表紙、実績表紙)の記載のための参照シートです。

入力部分

- シートにある水色のセル部分が入力項目です。
(セルの右上に赤い三角があるセルについては、カーソルを近づけるとセルに入力するための補足説明があります。)

例)

平成 年 月 日

自動車運送事業者等は国土交通大臣、それ以外は都道府県知事名を記載してください。

住所

フリガナ

氏名

入力項目

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

自動車使用管理計画報告書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第17条に基づき、特定自動車の使用管理計画を次のとおり提出します。

特定事業者の氏名又は名称

1. 自動車使用管理計画の 作成項目

- 1. 1 計画表紙
- 1. 2 計画排出量
- 1. 3 計画措置
- 1. 4 計画代替
- 1. 5 計画事業場

これらのシートのすべての入力部分を埋めることで自動車使用管理計画が提出できます。(順番は問いません)

計画表紙

- 業種番号の選択のみ産業分類表のシートを参照します。あとの項目は、補足説明に従い記載してください。

番号	
----	--

シート名: 計画表紙

「産業分類表」のシート『日本標準産業分類』から、該当の業種番号を記載してください。
2つ以上の業種に該当する場合は、最も主となる業種1つを記載してください。

日本標準産業分類 中分類

シート名: 産業分類表

該当する業種の番号を記載

1	農業
2	林業
3	漁業(水産養殖業を除く)
4	水産養殖業
5	鉱業, 採石業, 砂利採取業
6	総合工事業
7	職別工事業(設備工事業を除く)
8	設備工事業
9	食料品製造業
10	飲料・たばこ・飼料製造業
11	繊維工業
12	木材・木製品製造業(家具を除く)
13	家具・装備品製造業
14	パルプ・紙・紙加工品製造業
15	印刷・同関連業
16	化学工業
17	石油製品・石炭製品製造業
18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)

産業分類表のシートを参照

51	繊維・衣服等卸売業
52	飲食料品卸売業
53	建築材料, 鉱物・金属材料等卸売業
54	機械器具卸売業
55	その他の卸売業
56	各種商品小売業
57	織物・衣服・身の回り品小売業
58	飲食料品小売業
59	機械器具小売業
60	その他の小売業
61	無店舗小売業
62	銀行業
63	協同組織金融業
64	貸金業, クレジットカード業等非預金信用機関
65	金融商品取引業, 商品先物取引業
66	補助的金融業等
67	保険業(保険媒介代理業, 保険サービス業を含む)
68	不動産取引業

間違った入力例(エラーが表示されます)

特定自動車NOx・PM排出量

		事業所合計	1台当たり平均	走行距離(1km)当たり平均
NOx排出量(kg)	実績	2.5	2.5	0.0
	目標	1000.0	-	-
	削減率	-39900%	-	-
PM排出量(kg)	実績			
	目標	35	-	-
	削減率		-	-
CO ₂ 排出量(t)	実績	38.2	19.1	0.2
	目標	140.0	-	-
	削減率	-266%	-	-

エラーがあります。再確認してください

エラーがあります。再確認してください

注)走行距離当たりの単位はNOx,PMは(g/km),CO2は(kg/km)。

車両毎の排出量

事業場コードをすべての車両に記入しないと計画事業場のシートの台数が自動で計算されません

番号	事業場コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行距離(km)	年間燃料給油量	排出係数			燃費	排出量		
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						NOx・PM低減	PM低減			NOx	PM	CO ₂		NOx(kg)	PM(kg)	CO ₂ (t)
1	1	多摩	100	あ	1234	平成10年4月	普通貨物車	KC	24,990	ガソリン		あり(H17あり)	96,000	34,000	エラー	エラー	エラー	2.8	エラー	エラー	エラー
2	2	熊谷	400	い	5678	平成17年8月	小型貨物車	ADF		軽油			48,000	8,000	エラー	エラー	エラー	6.0	エラー	エラー	エラー
3	3	横浜	200	う	92	平成15年5月	大型バス	LR	19,880	天然ガス(CNG)				18,000	0.065	0.000	1.96		エラー	エラー	35.3
4	4	野田	500	さ	234	昭和63年12月	乗用車(軽乗用を除く)	E	1,650	ガソリン			10,000	1,250	0.250	0.000	2.32	8.0	2.5	0.0	2.9
5	5																				

多摩100あ1234・・・型式KCであれば燃料は軽油である

熊谷400い5678・・・車両総重量の記載漏れ

横浜200う 92・・・走行距離の記載漏れ

野田500さ 234・・・事業場コードの記載漏れ(車種別重量別台数の集計ができない)

・・・このように何か間違いがあればエラー表示で再考を促します。

NO_x,PM,CO₂排出量(1台あたり) の算定について

- ・NO_x・PMの排出量の算定式は次のとおり

[車両総重量3.5 t未満の車両]

排出係数(g/km) × 年間走行距離(km)

[車両総重量3.5 t超の車両]

排出係数(g/km/t) × 年間走行距離(km) × 車両総重量(t)

- ・CO₂の排出量の算定式は次のとおり

排出係数(kg/給油量の単位) × 年間燃料給油量(給油量の単位)

[給油量の単位]

ガソリン、軽油 :L(リットル)

CNG(天然ガス):m³

LPG、メタノール:kg

電気、燃料電池:kWh

計画措置

- それぞれの項目について計画の有無を選択し、実施する計画であれば当てはまる計画項目に○をつけ、その他の取組があれば「その他」欄に記載します。
(独自の取組についてはシートの一番下にある「特記事項」に記載してください)

適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画

計画事項	計画の有無	計画項目	内容
適正運転の実施	あり		エコドライブマニュアルの作成、配布
		○	▼エコドライブに関する教育、訓練の実施
			エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の削減等)
		○	アイドリングストップの徹底
		○	デジタル式運行記録計等の活用
		優良ドライバーの表彰	
		その他()	
車両の維持管理	なし		日常点検・整備マニュアルの作成、配布
			日常点検・整備に関する教育、訓練の実施
			日々の始業点検・定期点検の完全実施
			エアークリーナーの定期的な点検
			運転日報の作成
		その他()	
共同輸配送の促進			物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上)
			配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減)
		その他()	
帰り荷の確保			配送と集荷を1台で実施できるように工夫
			その他()
ジャスト・イン・タイムサービスの改善			時間指定配送の回数の低減を要請
			その他()

車両の有効利用の促進

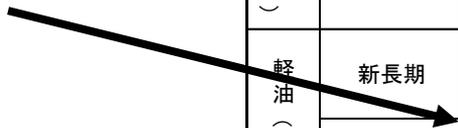
計画代替

- 「現状の台数」は、計画排出量のシートで入力していれば記載は不要です。将来の代替計画について記載します。

特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画

	現状の台数 平成 年 3月31日 現在	平成	年度	合 計										
		減少 台数	新規使 用台数	保有台数 (年度末)										
天然ガス	1											0	0	1
ハイブリッド												0	0	0
プラグインハイブリッド												0	0	0
(ハガソ プリン ツド・L P除 くG)	新☆☆☆ (ポスト新長 期、新長期)											0	0	0
	新☆☆☆☆ (ポスト新長 期、新長期)											0	0	0
	他	1										0	0	1
軽油 (ハイブリ ッド除 く)	新長期	1										0	0	1
	新☆ (新長期)											0	0	0
	ポスト新長期											0	0	0
	他	1										0	0	1
電気												0	0	0
メタノール												0	0	0
燃料電池												0	0	0
合 計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
うち低公害車の合計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
うち排出ガス低減装	0											0	0	1

計画排出量のシートより自動集計されます



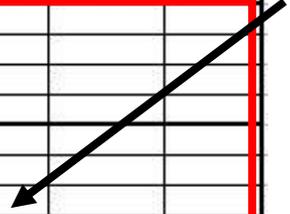
計画事業場

- 特定自動車の台数は、計画排出量のシートで入力していれば記載は不要です。（計画排出量のシートより自動集計されます）
- 従業員数を入力すると合計が計画表紙のシートの従業員数に記載されます。

事業場別の特定自動車の台数		平成 年 月 日 現在									
事業場コード		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業場の名称											
事業場の所在地											
事業場の連絡先											
従業員数											
種類	車両総重量	合計	台数								
普通貨物	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超	1	1								
小型貨物	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下	1		1							
	3.5t超										
大型バス	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超	1			1						
マイクロバス	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
特種自動車	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
乗用自動車		1					1				
合計		4	1	1	1	1					
被牽引車											

計画排出量のシートより自動集計されます。

被牽引車の台数は、各事業所ごとに直接入力してください。



2. 自動車使用管理計画(実績) の作成項目

- 2. 1 実績表紙
- 2. 2 実績排出量
- 2. 3 実績措置
- 2. 4 実績代替
- 2. 5 実績事業場

これらのシートのすべての入力部分を埋めることで自動車用管理計画(実績)が報告できます。

手順は1. 自動車使用管理計画と基本的に同様です。

※2年目以降の実績報告は、実績ファイルをコピーして活用ください